

食品健康影響評価に関する研究者・
研究内容等の調査
報告書

平成27年3月

株式会社三菱化学テクノリサーチ

目次

I. 調査の概要	1
II. 調査の目的	1
III. 調査の対象	2
IV. 調査の方法・内容	2
1. 食品の安全性に係る研究者等の調査	3
(1) 文献調査	3
食品の安全性等に関する研究成果に関与した研究者等	3
(2) 研究助成課題成果調査	4
(3) 研究者等情報調査	4
1) 関連業務を行っている機関の研究者等	4
2) 地方公共団体の部局の研究者等	6
3) 大学の研究者等	6
4) 審議会等の委員等	6
5) 学術団体の会員等	11
(4) 研究者等情報の追加	13
2. 研究者データベースの作成	14
(1) 研究者データベースに掲載する情報	14
(2) 研究者データベースの作成	16
3. 成果物の作成	17
別添 1 検索式	18
別添 2 SCOPUS において検索式に使用した物質名等	19

I. 調査の概要

本調査は、内閣府食品安全委員会事務局から株式会社三菱化学テクノロジーサーチへの食品安全確保総合調査事業「食品健康影響評価に関する研究者・研究内容等の調査」として実施した。

本調査では、食品安全委員会において適切なリスク評価の推進や緊急時における適切かつ迅速な対応等を図るため、我が国における食品の安全性の各分野における研究者・専門家（以下「研究者等」という。）に関する情報を収集・整理し、人材情報の効率的な検索・連携を可能とする「食品安全関連人材情報データベース」（以下「研究者データベース」という。）を作成した。

研究者データベースに収載した研究者等は、日本に在住する者又は海外に在住する日本人で、大学の講師以上、国又は地方公共団体の研究機関及び独立行政法人の室長以上の役職にある者又はそれと同等以上の者及び当該分野において顕著な成果を持つ者とした。

研究者等の情報は、商用データベース検索により平成 17 年（2005 年）以降の当該分野の国内外論文の著者及び国内外の研究助成資金の参画研究者等から収集した。これらの研究者等の氏名ごとにキーワード、分野、所属、学会誌及び学術誌に掲載された研究成果の名称等の情報をエクセルの一覧表に整理して、研究者データベースとした。

研究者データベースでは、「特定の研究者等情報」及び「特定のキーワード（技術分野）に該当する研究者等一覧」の検索が可能である。また、研究者等ごとにプロフィール及び文献情報を個票の形式で確認できるビューアー画面の表示ができるように、研究者データベースを設定した。

本調査で入手した文献数は、JDream III 4,105 件及び Scopus 3,597 件で、論文の著者となっている研究者数はのべ 22,015 名であった。また、研究助成課題成果の情報を入手した研究者数は、科学研究費助成事業（科研費）採択者 24,677 名、厚生労働科学研究費（厚労科研費）採択者 2,619 名、ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プロジェクト（HFSP）採択者 344 名であった。これらの情報から 2,802 名の研究者についてプロフィールを確認した。

II. 調査の目的

本調査は、食品安全委員会が、適切なリスク評価の推進、緊急時における適切かつ迅速な対応等を図るため、我が国における食品の安全性の各分野における研究者等に関する情報を蓄積・整理し、人材情報の効率的な検索・連携を可能とすることを目的とした。

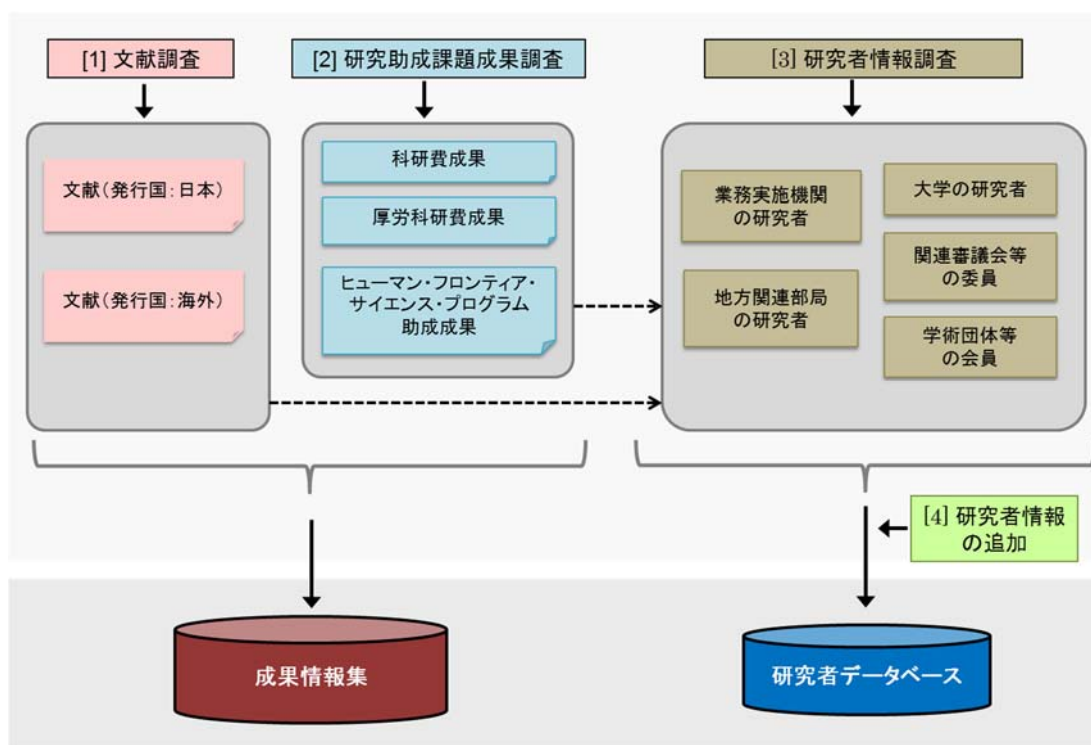
Ⅲ. 調査の対象

本調査で情報収集する研究者等は、日本に在住する者又は海外に在住する日本人であって、大学の講師以上、国又は地方公共団体の研究機関及び独立行政法人の室長以上の役職にある者又はそれと同等以上の者を調査対象とした。

また、調査対象分野は、食品添加物、農薬、動物用医薬品、化学物質・汚染物質、微生物・ウイルス、プリオン、自然毒、遺伝子組換え食品・飼料、新開発食品、飼料・肥料等とした。

Ⅳ. 調査の方法・内容

本調査では以下の作業フローにより調査を行った。



以下に具体的な調査方法・内容を記す。

1. 食品の安全性に係る研究者等の調査

(1) 文献調査

食品の安全性等に関する研究成果に関与した研究者等

内閣府、厚生労働省、農林水産省、文部科学省、環境省、独立行政法人等の関係機関及び地方公共団体の食品の安全性に関連する研究報告、食品の安全性等に関連する学会誌及び学術誌等を調査し、食品の安全性等に関する研究成果に関与した研究者等の情報については、日本及び海外を発行国とする情報を、当該分野における主要な国際的科学文献を網羅できるよう、商用データベースの JDreamIII 及び Scopus を用いて (表 1)、別添 1 の検索式により検索した。Scopus による検索においては別添 2 の化合物名もキーワードとして加えた。

調査を行う学会誌及び学術誌等は科学的に信頼性の高いものとするため、学会発表要旨は除外した。また、過去 11 年間 (2004 年 1 月～2014 年 12 月) の研究成果を対象とし、研究成果が複数の研究者等による共同研究である場合には、研究成果に記載されている代表者以外の研究者等も調査対象とした。

表 1 文献調査に用いた商用データベースの概要

データベース名		概要 (情報提供元)	検索対象
JDreamIII (JST)	JST Plus	科学技術 (医学を含む) 全分野に関する文献データベース ・ 日本最大級の科学技術文献情報データベース ・ 収録数 6,000 万件 ・ 国内外の医学・薬学・科学技術全般の文献を収載	国内・海外文献 (書誌情報: 日本語)
	JMEDPlus	医学、薬学、歯科学、看護学、生物科学、獣医学等に関する日本国内発行の文献情報データベース	国内文献 (書誌情報: 日本語)
Scopus (エルゼビア社)		全分野 (科学、技術、医学、社会科学、人文科学) に関する世界最大級の抄録・引用文献データベース ・ 世界 5,000 社以上の出版社の 21,000 誌以上のジャーナル、5,100 万件以上の文献を収載	国内・海外文献 (書誌情報: 英語)

検索条件は、以下の通りとした。

- ・ 発行年は 2004～2014 年
- ・ 抄録情報のある文献 (原著論文、短報、文献レビュー、解説)

(2) 研究助成課題成果調査

研究者等の研究成果情報は、上記の文献検索に加え、研究成果として科学研究費補助金（科研費）、厚生労働科学研究費補助金（厚労科研費）、ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム（HFSP）の助成金（表2）を受けた研究者等を調査して一覧表を作成した。

表2 研究助成課題成果調査に用いたデータベースの概要

データベース名	概要	入手情報
KAKEN （日本学術振興会）	文部科学省及び日本学術振興会が交付する科学研究費補助金の採択時データと研究成果のデータベース	成果内容と関係研究者等
MHLW GRANTS SYSTEM （厚生労働省）	厚生労働科学研究費補助金等で実施した研究成果のデータベース	成果内容と関係研究者等
HFSP（ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム） （HFSP 推進機構）	日本の提唱で1989年に設立し、G7、EU、その他6か国が出資している生命科学分野の研究助成制度。採択者と研究内容の社内データベース	成果内容と助成を受けた研究者等

(3) 研究者等情報調査

1) 関連業務を行っている機関の研究者等

食品の安全性等に関連する業務を実施している機関において、食品の安全性等に関する業務に従事している研究者等の情報を収集した。

内閣府	食品安全委員会
厚生労働省	国立医薬品食品衛生研究所
	国立感染症研究所
	国立保健医療科学院
	国立循環器病研究センター
	国立障害者リハビリテーションセンター
	独立行政法人国立国際医療研究センター
	独立行政法人国立成育医療研究センター
	独立行政法人医薬基盤研究所
	独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)
	独立行政法人国立がん研究センター
	独立行政法人国立健康・栄養研究所
	独立行政法人国立長寿医療研究センター
	独立行政法人国立精神・神経医療研究センター
	独立行政法人労働安全衛生総合研究所
	独立行政法人労働者健康福祉機構
	検疫所
	一般財団法人食品薬品安全センター

厚労省・農水省	公益財団法人食品農医薬品安全性評価センター
	一般財団法人残留農薬研究所
農林水産省	独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構
	独立行政法人農業環境技術研究所
	独立行政法人農林水産消費安全技術センター
	独立行政法人家畜改良センター
	独立行政法人農業生物資源研究所
	独立行政法人森林総合研究所
	独立行政法人国際農林水産業研究センター
	動物検疫所
	動物医薬品検査所
	独立行政法人水産総合研究センター
	一般財団法人生物科学安全研究所
文部科学省	独立行政法人科学技術振興機構
	国立情報学研究所
環境省	独立行政法人国立環境研究所
	国立水俣病総合研究センター
経済産業省	独立行政法人製品評価技術基盤機構
	独立行政法人産業技術総合研究所（産総研）
	一般財団法人化学物質評価研究機構
警察庁	科学警察研究所
消費者庁 ＜関連協会・団体＞	独立行政法人国民生活センター
	一般社団法人日本フードサービス協会
	一般社団法人日本植物防疫協会
	公益社団法人日本薬剤師会
	社団法人日本食品衛生協会
	財団法人日本健康・栄養食品協会
	食品衛生登録検査機関協会
	財団法人日本食品分析センター
	日本食品添加物協会
	日本香料工業会
	社団法人日本動物用医薬品協会
	日本生活協同組合連合会
	公益財団法人日本食品科学研究振興財団
	日本ミネラルウォーター協会
	公益財団法人日本水道協会
	日本労働災害防止協会、日本バイオアッセイ研究センター
	日本化学工業協会

2) 地方公共団体の部局の研究者等

地方公共団体の食品の安全性等に関連する業務を実施している部局において、食品の安全性等に関する業務に従事している研究者等の情報を収集した。

全国都道府県等の食品安全施策情報ネットワーク
地方衛生研究所ネットワーク
地方衛生研究所全国協議会 委員会・部会名簿
地方衛生研究所職員専用
地方衛生研究所名簿
全国食の安全情報（大阪教育大学）
全国食品安全自治ネットワーク

3) 大学の研究者等

大学において、食品の安全性等に関連する研究を実施している研究者等の情報を以下のデータソースから収集した。

主要大学のホームページ
科研費データベース

4) 審議会等の委員等

食品の安全性等に関連する審議会等の委員等の情報を、以下の審議会等を開催した省庁のホームページから収集した。

厚生労働省

薬事・食品衛生審議会	薬事・食品衛生審議会
	薬事・食品衛生審議会総会
	薬事分科会
	日本薬局方部会
	副作用・感染等被害判定第一部会
	副作用・感染等被害判定第二部会
	生物由来製品感染等被害判定調査会
	副作用被害判定部会
	副作用・感染等被害判定部会
	薬事・食品衛生審議会医薬品第一部会
	薬事・食品衛生審議会医薬品第二部会
	血液事業部会
	血液事業部会運営委員会
	血液事業部会安全技術調査会
	血液事業部会安全技術調査会血漿分画製剤の安全性確保対策の検討小委員会

薬事・食品衛生 審議会（続き）	血液製剤の安全性確保対策に関する検討小委員会
	血液事業部会適正使用調査会
	血液事業部会需給調査会
	血液事業部会献血推進調査会
	医療機器・体外診断薬部会
	医薬品再評価部会
	生物由来技術部会
	生物由来製品臨時部会
	要指導・一般用医薬品部会
	化粧品・医薬部外品部会
	医薬品等安全対策部会
	伝達性海綿状脳症対策調査会
	医薬品等安全対策部会安全対策調査会
	医薬品等安全対策部会ディート（忌避剤）に関する検討会
	医療機器安全対策部会
	医療機器安全対策部会安全対策調査会
	医療用具安全対策部会
	指定薬物部会
	毒物劇物部会
	取扱技術基準等調査会
	毒物劇物調査会
	化学物質安全対策部会
	化学物質調査会
	P R T R 対象物質調査会
	家庭用品安全対策調査会
	医療材料部会
	薬事バイオテクノロジー部会
	食品衛生分科会
	食品衛生分科会食品規格部会
	食品衛生分科会食中毒部会
	食品衛生分科会乳肉水産食品部会
	食品衛生分科会乳肉水産食品部会残留動物用医薬品調査会
	食品衛生分科会乳肉水産食品部会食肉等の生食に関する調査会
	食品衛生分科会添加物部会
	食品衛生分科会添加物部会食品添加物調査会
	食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
	食品衛生分科会器具・容器包装部会
	食品衛生分科会新開発食品調査部会
	食品衛生分科会新開発食品調査部会新開発食品評価調査会
	食品衛生分科会新開発食品調査部会遺伝子組換え食品等調査会
	食品衛生分科会伝達性海綿状脳症対策部会
	食品衛生分科会放射性物質対策部会
	食品衛生分科会表示部会
	食品衛生分科会表示部会食品表示調査会
	食品衛生分科会毒性部会
	食品衛生分科会ダイオキシン特別部会

薬事・食品衛生 審議会（続き）	食品衛生分科会毒性部会・残留農薬部会合同部会
	食品衛生分科会毒性部会・残留農薬部会・乳肉水産食品部会合同部会
	食品衛生分科会毒性部会・新開発食品調査部会
	食品衛生分科会毒性・ダイオキシン特別合同部会
	食品衛生分科会毒性・添加物合同部会
	食品衛生分科会毒性・器具容器包装合同部会
	食品衛生分科会乳肉水産食品・毒性部会合同部会
	食品衛生分科会食品規格・毒性合同部会
	食品衛生分科会食品規格・乳肉水産食品・毒性合同部会
	食品衛生分科会器具容器包装・乳肉水産食品合同部会
	食品衛生分科会表示部会・新開発食品調査部会合同部会
	食品衛生分科会食中毒・乳肉水産食品合同部会
	食品衛生分科会食中毒・食品規格合同部会
社会保障審議会	医療分科会
	医療部会
厚生科学審議会	感染症分科会
	感染症分科会結核部会
	感染症分科会感染症部会ポリオ及び麻しんの予防接種に関する検討小委員会
	感染症分科会感染症部会動物由来感染症ワーキンググループ
	感染症分科会感染症部会エイズ・性感染症ワーキンググループ
	感染症分科会感染症部会新型インフルエンザ対策に関する検討小委員会
	感染症分科会感染症部会感染症技術ワーキンググループ
	感染症分科会感染症部会
	感染症分科会感染症部会麻しんに関する小委員会
	予防接種・ワクチン分科会
	予防接種・ワクチン分科会 予防接種基本方針部会
	ロタウイルスワクチン作業班
	予防接種・ワクチン分科会 副反応検討部会
	予防接種・ワクチン分科会 研究開発及び生産流通部会
	感染症部会
	風しんに関する小委員会
	結核部会
	医薬品等制度改正検討部会
	感染症分科会予防接種部会
	感染症分科会予防接種部会日本脳炎に関する小委員会
	感染症分科会予防接種部会ワクチン評価に関する小委員会
	エイズ予防指針見直し検討会
	生活衛生適正化分科会
	科学技術部会
	厚生労働科学研究における利益相反に関する検討委員会
	科学技術部会疫学研究に関する倫理指針の見直しに係る専門委員会・
	臨床研究に関する倫理指針の見直しに係る専門委員会
	科学技術部会疫学研究指針の見直しに関する専門委員会
	今後の中長期的な厚生労働科学研究の在り方に関する専門委員会
	医学研究における個人情報取扱いの在り方に関する専門委員会
	科学技術部会再生医療の安全性確保と推進に関する専門委員会

厚生科学審議会 (続き)	科学技術部会ヒト幹細胞を用いた臨床研究の在り方に関する専門委員会
	科学技術部会ヒト幹細胞を用いる臨床研究に関する指針の見直しに関する専門委員会
	科学技術部会ヒト幹細胞臨床研究に関する審査委員会
	科学技術部会科学技術政策にかかる専門委員会
	科学技術部会ヒト胚研究に関する専門委員会
	科学技術部会臨床研究の指針に関する専門委員会
	科学技術部会臨床研究に関する倫理指針の見直しに係る専門委員会
	科学技術部会臨床研究の倫理指針に関する専門委員会
	疾病対策部会
	疾病対策部会臓器移植委員会
	疾病対策部会難病対策委員会
	疾病対策部会指定難病検討委員会
	疾病対策部会造血幹細胞移植委員会
	疾病対策部会リウマチ・アレルギー対策委員会
	疾病対策部会クロイツフェルト・ヤコブ病等委員会
	生殖補助医療部会
	地域保健健康増進栄養部会
	次期国民健康づくり運動プラン策定専門委員会
	たばこの健康影響評価専門委員会
	健康日本21（第二次）推進専門委員会
	生活環境水道部会
	生活環境水道部会水質管理専門委員会
	化学物質制度改正検討部会（再設置）
	化学物質制度改正検討部会
	化学物質制度改正検討部会化学物質審査規制制度の見直しに関する専門委員会
	医薬品販売制度改正検討部会
	医薬品のリスクの程度の評価と情報提供の内容等に関する専門委員会
	健康危機管理部会
	がん登録部会
労働政策審議会	安全衛生分科会
	安全衛生分科会労働災害防止団体改革検討専門委員会
	安全衛生分科会指定・登録制度改革検討専門委員会
	安全衛生分科会じん肺部会
がん対策推進協議会	がん対策推進協議会
	緩和ケア専門委員会
	小児がん専門委員会
	がん研究専門委員会
肝炎対策推進協議会	肝炎対策推進協議会
その他（検討会、研究会、ワーキンググループ、作業班等）	健康局
	医薬食品局
	食品安全部
	検討会、研究会等 審議会議事録

農林水産省

薬事・食品衛生審議会動物用医薬品等部会		
農業資材審議会	農薬分科会	
	種苗分科会	
	飼料分科会・中央環境審議会合同会合（ペットフード関連）	
	飼料分科会	
	家畜栄養部会	
	安全性部会	
食品の表示に関する共同会議	農林水産政策会議	
その他 （検討会、研究会、 ワーキンググループ、 作業班等）	食料産業局	植物新品種の保護・活用に関する懇談会
		政府米のカビに関する科学委員会
		食品容器包装のリサイクルに関する懇談会
	消費・安全局	食肉流通問題調査検討委員会
		リスク管理検討会
		ペットフードの安全確保に関する研究会
	農林水産技術会議	生物多様性影響評価検討会 総合検討会
		動物の伝達性海綿状脳症実験指針検討会
	独立行政法人評価委員会	農業分科会

環境省

循環型社会部会	容器包装の3R推進に関する小委員会
	食品リサイクル専門委員会
土壌農薬部会	農薬小委員会

経済産業省

科学・バイオ部会
安全対策部会
有機顔料中に副生するPCBに関するリスク評価検討会
有機顔料中に副生するPCBの工業技術的・経済的に低減可能なレベルに関する検討会
官民連携既存化学物質安全性情報収集・発信プログラム

消費者庁

外食等におけるアレルギー情報の提供の在り方検討会
消費者安全調査委員会
食品の新たな機能性表示制度に関する検討会

内閣府

安全・安心で持続可能な未来に向けた社会的責任に関する円卓会議
食育推進会議
食品安全委員会

5) 学術団体の会員等

食品の安全性等に関連する学術団体の会員等の情報を収集した。

主な分野	学会
主要学会	日本獣医学会
	日本生化学会
	日本分子生物学会
	日本薬学会
	日本農芸化学会
	日本化学会
衛生	日本衛生学会
	日本産業衛生学会（大気環境基準など作成）
毒性	日本毒性学会（旧日本トキシコロジー学会）
	日本免疫毒性学会
	日本産業衛生労働学会
病理	日本毒性病理学会
	日本病理学会
薬理	日本安全性薬理研究会
	日本薬理学会
	日本臨床薬理学会
薬物動態	日本薬物動態学会
実験動物	日本動物実験代替法学会
	実験動物学会
	水産学会
	畜産学会
	アジア太平洋プリオン研究会
	鶏病研究会
	獣医疫学会
	獣医神経病研究会
	獣医麻酔外科学会
	動物用ワクチン-バイオ医薬品研究会(旧 動物サイトカイン研究会)
	肉用牛研究会
	日本ウイルス学会
	日本ウマ科学会
	日本実験動物医学会
	日本衛生動物学会
	日本獣医学会
	日本獣医循環器学会
	日本家禽学会
	日本家畜人工授精師協会
	日本畜産学会
	日本動物学会
	日本豚病研究会
	日本繁殖生物学会
	日本家畜臨床学会
	日本養豚学会

実験動物 (続き)	日本哺乳動物卵子学会
	静岡実験動物研究会
環境	日本環境変異原学会
	日本環境化学会
	日本環境学会
	環境ホルモン学会（正式名：日本内分泌攪乱化学物質学会）
	日本水環境学会
疫学	日本疫学会
	日本薬剤疫学会
	日本中毒学会
	日本先天異常学会
	日本がん疫学学会→日本がん疫学・分子研究会
医学関連	日本癌学会
	日本炎症・再生医学会
	日本解剖学会
	日本感染症学会
	日本寄生虫学会
	日本顕微鏡学会
	日本細菌学会
	日本細菌学会関東支部会
	日本神経内分泌学会
	日本生体防御学会
	日本生物工学会
	日本生理学会
	日本組織細胞化学会
	日本乳房炎研究会
	日本比較生理生化学会
	日本比較内分泌学会 (JSCE)
	日本比較免疫学会(JADCI)
	日本マイコプラズマ学会
	日本免疫学会
食品	日本食品衛生学会
	日本食品化学会
	日本食品微生物学会
農薬	日本農薬学会
分析	日本分析化学会
リスク管理	レギュラトリーサイエンス学会
	日本リスク研究学会
その他	オフフレイバー研究会
	(財) 飯島記念食品科学振興財団
	(財) 糧食研究会
	(財) 安藤スポーツ・食文化振興財団
	(財) 日本食品化学研究振興財団
	(財) 飯島記念食品科学振興財団
	(財) 糧食研究会
	(財) 安藤スポーツ・食文化振興財団

その他（続き）	（社）日本食品衛生協会
	（財）日本健康・栄養食品協会
	食品衛生登録検査機関協会
	（財）日本食品分析センター
	日本食品添加物協会
	日本香料工業会
	（社）日本動物用医薬品協会
	日本生活協同組合連合会

（４）研究者等情報の追加

上記の調査により得られなかった情報は、研究者等ごとの情報を収載した以下のデータベースから収集した。

収集する情報	概要（情報提供元）	情報収集先（例）
氏名、所属、職位 生年月日、経歴等	Researchmap	研究者等ごとの情報データベース（JST）
	研究者等の HP	研究者等の所属機関に属するデータベース
	ウェブ検索	Google 等の検索エンジンを使用したウェブ上の検索

2. 研究者データベースの作成

(1) 研究者データベースに掲載する情報

研究者データベースに掲載する情報として、上記の調査方法により入手した情報を研究者等ごとに整理して、エクセル表にまとめた。また、調査対象の研究者等の成果情報として、参画した国等の研究に関する報告、学会誌及び学術誌（日本、海外）に掲載された研究論文を収集した。

研究者データベースに掲載した情報の項目と情報元等を下表に記す。

研究者データベースの項目	情報元等
日本語キーワード	JDreamIII の検索式でヒットしたキーワードを列記
日本語キーワード（左列と同じ）	上記と同様のキーワード
英語キーワード	Scopus のデータの「キーワード」の項目に記載されているもの
英語キーワード（左列と同じ）	上記と同様のキーワード
分野	研究者等情報調査で得られた分野、ホームページや各種データベースに記載されている分野等を列記
研究者名（漢字）	研究者等氏名の漢字表記
研究者名(英語)	研究者等氏名の英語表記
研究者ヨミ	研究者等氏名の読み（カタカナ）
所属、役職(最新)	研究者等情報調査及びデータベース調査で得られた最新の所属及び役職
連絡先住所（最新、複数）	調査で得られた最新の所属の住所
電話番号（最新、複数）	調査で得られた最新の所属の電話番号
E-mail（最新、複数）	調査で得られた最新の所属の住所
最新情報の年（月）	上記の最新所属の情報の年（月）
研究室 URL	ウェブ調査等で入手した研究者等の研究室または所属機関の URL
学位	研究者等のホームページやウェブ調査で入手した情報
生年月日	
学歴	
職歴	

研究者データベースの項目	情報元等
委員歴（複数）	研究者等情報調査及び研究者等ホームページ等から入手した情報
所属学会（日本）	
所属学会（海外）	
科研費：研究者番号	科研費データベースから入手した情報
研究者 ID	研究者等ごとに、本調査で付与
海外 1：タイトル	Scopus による検索でヒットした文献のうち、最新のものから順に 5 件を記載
海外 1：出版年	
海外 1：ジャーナル名	
海外 1：巻	
海外 1：号	
海外 1：開始ページ	
海外 1：終了ページ	
海外 2～5：上記と同様、タイトル～終了ページ	
国内 1：和文標題	JDreamIII による検索でヒットした文献のうち、最新のものから順に 5 件を記載
国内 1：資料名	
国内 1：巻	
国内 1：号	
国内 1：ページ	
国内 1：発行年	
国内 2～5：上記と同様、和文標題～発行年	
研究課題：標題 3 件	科研費課題のうち 3 件を記載
項目 1～10	予備

（２）研究者データベースの作成

上記の「１．食品の安全性に係る研究者等の調査」で収集した情報を、研究者データベースの項目ごとに整理し、検索することが可能な研究者データベースを作成した。研究者データベースにおいてプロフィールを確認した研究者等数は 2,802 名、論文成果を持つ研究者等はのべ 22,015 名であった。

研究者データベースを用いて、「特定の研究者等情報」及び「特定のキーワード（技術分野）に該当する研究者等一覧」を、エクセルのフィルター機能により検索することが可能である。検索方法を以下に示す。

まず、スタート画面から「研究者データベース」ボタンをクリックして研究者データベースを表示する。

「特定の研究者等情報」を検索する場合は、「研究者名（漢字）」、「研究者名（英語）」又は「研究者ヨミ」の欄のオートフィルターオプションで、知りたい研究者等名を入力して検索する。該当する研究者等のデータにカーソルを置き、「１件表示」ボタンをクリックすると、ビューアー画面が表示され、その研究者等のプロフィール及び研究成果を見やすい個票形式で確認することができる。表示されるデータは、プロフィール画面では、研究者 ID、研究者名（漢字）、研究者名（英語）、研究者名（ヨミ）、所属・役職（最新）、連絡先住所、電話番号、E-mail、最新情報の年（月）、研究室 URL、学位、生年月日、学歴、職歴、委員歴、所属学会（日本）、所属学会（海外）、科研費研究者番号、日本語キーワード、英語キーワード、分野である。文献画面では、研究者 ID、研究者名（漢字）、研究者名（英語）、海外文献（最新 5 件以内）及び国内文献（最新 5 件以内）の表題と書誌事項、及び科研費課題名（3 件以内）が表示される。表示した研究者情報の前後にリストされている研究者情報（同姓同名の研究者等など）を見たい場合は、ビューアー画面右側の矢印をクリックすることにより、前又は次の行の研究者等情報を表示することができる。

「特定のキーワード（分野）に該当する研究者等一覧」の検索では、上記と同様に研究者データベースを表示し、「日本語キーワード」「英語キーワード」「分野」欄のフィルター機能を利用してキーワードにより研究者等を絞り込み、該当する研究者等を表示する。表示された各研究者等の情報は、上記と同様にプロフィール及び文献を、見やすい個票形式でビューアー画面に表示して確認することができる。

なお、詳細な研究成果を見たい場合には、スタート画面において「成果情報集」のボタンをクリックすることにより、本調査で入手した成果の全件について検索結果を参照することができる。

3. 成果物の作成

本調査の成果物として、以下を作成し納品した。

- ・ 研究者データベース
- ・ 調査報告書（製本版）
- ・ 調査報告書（CD-ROM）

別添 1 検索式

L 番号	検索条件
L1	(食品 OR 食品汚染 OR 食中毒)/CT AND ((食品添加物 OR 農薬 OR 動物用医薬品 OR 環境汚染 OR 汚染物質 OR 重金属 OR 内分泌攪乱物質 OR 有機塩素系殺虫剤 OR 可塑剤 OR プリオン? OR 毒素 OR 有毒植物 OR 遺伝子操作 OR トランスジェニック植物 OR 健康食品 OR 特定保健用食品 OR 照射食品 OR 飼料 OR 肥料)/CT OR ((抗生物質/CT OR 合成抗菌剤 OR 肥育ホルモン OR 合成ホルモン OR 薬剤耐性) AND (家畜 OR ヒツジ OR 鶏卵 OR 魚類 OR 貝類肉)/CT)) AND JA/LA AND 2004-2014/PY AND (A1 OR A2 OR B1 OR B2)/DT
L2	L1 AND (安全性/CT OR リスクアセスメント OR リスク査定 OR リスク分析/CT OR リスクアナリシス OR リスクプロファイル OR 危険アセスメント OR 危険事前評価 OR 危険性評価 OR 危険評価 OR 閾値 OR 一日摂取許容量/CT OR 一日許容摂取量 OR 耐容週間摂取量 OR 耐容一日摂取量 OR 許容上限摂取量 OR LOAEL OR NOAEL OR LOEL OR NOEL OR ウェイト・オブ・エビデンス OR 等価用量 OR ベンチマークドーズ OR 推定一日摂取量 OR 理論最大一日摂取量 OR 最大残留基準値 OR 無作用量 OR 無毒性量 OR 安全係数 OR 不確実係数 OR 用量反応評価 OR 用量－反応評価 OR 暴露評価 OR 曝露評価 OR ゼロリスク OR 毒性/CT OR 致死量/CT OR ウェイト・オブ・エビデンス OR 証拠の重みづけ OR 反復投与毒性 OR 呼吸器毒性 OR 免疫毒性 OR 神経行動毒性 OR 血液毒性 OR 循環器毒性 OR 消化器毒性 OR 内分泌毒性 OR 運動器毒性 OR 感覚器毒性 OR 刺激性 OR 繁殖試験 OR 発生毒性 OR 胎児毒性 OR 発達毒性 OR 感作性 OR アレルギー OR 変異原性 OR Ames 試験/CT OR 染色体異常 OR 発癌物質 OR 化学発癌 OR 発癌プロモータ OR 薬理試験 OR 毒性メカニズム OR 毒性発現メカニズム OR 作用メカニズム OR 作用機作 OR 作用機序)
L3	(食品 OR 食品汚染 OR 食中毒)/CT AND (リスクコミュニケーション OR RISK(W)COMMUNICATION/TIEN OR RISK(W)COMMUNICATION/TIEN OR リスク管理/CT OR 食品テロ OR テロ対策 OR テロリズム OR (毒物/CT OR 劇物 OR バイオ OR 微生物/CT) AND (混入 OR 汚染) AND 危機) AND JA/LA AND 2004-2014/PY AND (A1 OR A2 OR B1 OR B2)/DT
L4	(食品 OR 食品汚染 OR 食中毒)/CT AND (細菌 OR 微生物 OR 感染症)/CT AND (安全性/CT OR リスクアセスメント OR リスク査定 OR リスク分析/CT OR リスクアナリシス OR リスクプロファイル OR 危険アセスメント OR 危険事前評価 OR 危険性評価 OR 危険評価) AND JA/LA AND 2004-2014/PY AND (A1 OR A2 OR B1 OR B2)/DT
L5	L2 OR L3 OR L4
L6	L5 AND AB/FA

JA/LA：日本語に限定、2004-2014/PY：発行年が2004年～2014年、

(A1 OR A2 OR B1 OR B2) /DT：原著論文、短報、文献レビュー、解説を指定

AB/FA：抄録のあるものを指定、/CT：シソーラス用語、?：前方一致

別添2 SCOPUSにおいて検索式に使用した物質名等

1. 添加物

β-apo-8'-カロテナール
ひまわりレシチン
アカネ色素
アセスルファムカリウム
アセトアルデヒド
アゾキシストロビン
アドバンテーム
アミルアルコール
アルギン酸アンモニウム
アルギン酸カリウム
アルギン酸カルシウム
アルミノケイ酸ナトリウム
アンモニウムイソバレレート
イソアミルアルコール
イソキノリン
イソバレルアルデヒド
イソブタナール
イソブタノール
イソプロパノール
イソプロパノール
イソプロパノール
イソペンチルアミン
ウッドロジングリセリンエステル
カルミン
カンタキサンチン
グルタミルバリルグリシン
コウジ酸
サッカリンカルシウム
サッカリンナトリウム
ステアリン酸カルシウム
ステアリン酸マグネシウム
ステアロイル乳酸ナトリウム
ソルビン酸カルシウム
タール色素
トリメチルアミン
ナイシン
ナタマイシン
ネオテーム
バレルアルデヒド
ヒドロキシプロピルセルロース
ヒドロキシプロピルメチルセルロース

ビオチン
ピペリジン
ピラジン
ピリメタニル
ピロリジン
ピロール
フェネチルアミン
フルジオキシニル
フルジオキシニル
ブタナール
ブタノール
ブチルアミン
プロテイングルタミナーゼ
プロパノール
プロピオンアルデヒド
ポリソルベート 20,ポリソルベート 60,ポリソルベート 65,ポリソルベート 80
ポリビニルピロリドン
メチルヘスペリジン
1-ヒドロキシエチリデン-1,1-ジホスホン酸
酢酸 α -トコフェロール
L-アスコルビン酸カルシウム
(3-アミノ-3-カルボキシプロピル)ジメチルスルホニウム塩化物
1-ペンテン-3-オール
2,3,5,6-テトラメチルピラジン
2,3,5-トリメチルピラジン
2,3-ジエチル-5-メチルピラジン
2,3-ジエチルピラジン
2,6-ジメチルピリジン
2-エチル-3, (5or6) -ジメチルピラジン
2-エチル-3-メチルピラジン
2-エチル-5-メチルピラジン
2-エチル-6-メチルピラジン
2-エチルピラジン
2-ペンタノール
2-メチルピラジン
2-メチルブタノール
2-メチルブチルアルデヒド
2- (3-フェニルプロピル) ピリジン
2, 3-ジメチルピラジン
2, 5-ジメチルピラジン
2, 6-ジメチルピラジン
3-エチルピリジン
3-メチル-2-ブタノール
3-メチル-2-ブテナール
3-メチル-2-ブテノール

5,6,7,8-テトラヒドロキノキサリン
5-エチル-2-メチルピリジン
5-メチルキノキサリン
5-メチルキノキサリン
5-メチルテトラヒドロ葉酸カルシウム
6,7-ジヒドロ-5-メチル-5H-シクロペンタピラジン
6-メチルキノリン
アスパラギナーゼ
L-アスコルビン酸 2-グルコシド
L-グルタミン酸アンモニウム
trans-2-ペンテナール
trans-2-メチル-2-ブテナール

2. 化学物質・汚染物質

アンチモン
クロロホルム
クロロ酢酸
シアン
シス-1,2-ジクロロエチレン
ジクロロアセトニトリル
ジクロロメタン
ジクロロ酢酸
ジクロロ酢酸
ジブロモクロロメタン
セレン
テトラクロロエチレン
トランス 1,2-ジクロロエチレン
トリクロロエチレン
トリクロロエチレン
トリクロロ酢酸
トリクロロ酢酸
トルエン
フタル酸ジ (2-エチルヘキシル)
ブロモジクロロメタン
ブロモホルム
ベンゼン
ホルムアルデヒド
メチル-t-ブチルエーテル
抱水クロラール
総トリハロメタン
1,1,1-トリクロロエタン
1,1,2-トリクロロエタン
1,1-ジクロロエチレン
1,1-ジクロロエチレン

1,2-ジクロロエタン
1,2-ジクロロエチレン
1,4-ジオキサン

3. 容器・包装

ビスフェノール A
フタル酸ジブチル (DBP)
フタル酸ビス (2-エチルヘキシル) (DEHP)
ビス-2-ヒドロキシエチルテレフタレート(BHET)
ポリエチレンテレフタレート (PET)